

湯河原ロータリークラブ



WEEKLY REPORT

ロータリーに 輝きを

第 2583回 例会
平成27年4月24日(金)
天候 晴れ
合唱 我らの生業
四つのテスト

会長 神谷 一博

幹事 深澤 昌光

事務所 神奈川県足柄下郡湯河原町宮上 566 湯河原温泉観光協会内
TEL 0465(64)1234 FAX 0465(63)1716

例会場 静岡県熱海市泉 107 ニューウェルシティ湯河原

TEL 0465(63)3721 FAX 0465(63)6401

例会日 毎週金曜日 12:30~13:30

会長挨拶

4月19日(日)の地区研修・協議会に出席して頂いた方、ほぼ一日お付き合いして頂きましてありがとうございました。また、石田会員にはバスの手配、小倉会員には移動中の差し入れをそれぞれしていただき、ありがとうございました。更に室伏会員におかれましては、クラブ研修リーダーの研修に諸先輩ばかりの所に代理出席していただきお疲れ様でした。後ほど、クラブ協議会にて、分科会に出席された方は発表をよろしくお願いいたします。

4月29日(水)「昭和の日」の11:30から、高校生のインターアクトクラブ、ローターアクトクラブ約40名で「テーブルマナー講座」を宮ノ下富士屋ホテルで行います。昨年のゆがわらふれあい産業祭(END POLIO NOW キャンペーン)の際にインターアクトクラブには大変お世話になりましたので、参加しようと思います。お手元に案内文を配らせて頂きましたので、皆様も是非応援しに行きませんか。

アレックス君(別名ヤクーツクの眠り王子)の近況ですが、今日は高校の遠足(羽田空港とお台場巡り)に元気よく行きました。天候に恵まれていい遠足になると思います。私が5月一杯ホストファミリーを務め、6月からは山本会員にお願いいたします。

幹事報告

国際ロータリー日本事務局

1. 4月のロータリーレート 1ドル118円
ガバナー

1. 青少年交換リエンテーション開催について
日時: 5月9日(土) 14時00分~15時45分
場所: 相澤ビル6階会議室
回答締め切り: 4月30日(木)

2. クラブ幹事・事務局研修の開催について
日時: 5月23日(土) 13時30分~16時
場所: アイクロス湘南7階研修室
回答締め切り: 5月8日(金)

連絡事項

1. 5月の例会は、8日、15日の通常例会で、22日は家族親睦旅行、29日の通常例会となります。次週は、規定により休会となりますので皆様お間違えの無いようお願い致します。

スマイルBOX

西山 敦君・平間章弘君・細谷信雄君

鍛冶屋五郎神社の例祭が無事終了しました。

石田浩二君 タウンニュースに森のせせらぎが取り上げられました。

室伏 学君 4/19地区研修協議会の際に勘違いから佐東丈介会員を置いてきぼりにしてしまいました。

出席報告	ゲスト 0名 ビジター 0名	会員 25名
	欠席 4(免除者 2名)	出席率 91.30%
	前回の修正出席率 91.67%	前々回の修正出席率 91.67%

事前メイクアップ 1名

地区研修・協議会

平成 27 年 4 月 19 日（日）神奈川県立保健福祉大学（横須賀市）に出席義務者が参加してきました。



集合写真



会場風景



表彰式



湯河原 RC 表彰

クラブ協議会

《表彰》 神谷一博君

寄付 100% の表彰を 2 つ受けました。湯河原 RC が 35000 クラブの中の 1200 クラブと 2000 クラブの中の 1 クラブとのことでした。

《公共イメージ》 神谷一博君

世間のイメージは、ロータリークラブを聞いたことがあるが、何をしている団体なのかが分からないとの質問が多いとのことです。公共イメージのアップが、引き続き我々の使命となります。

《幹事部門》 山本明峰君

研修は、web 上の Club Central という仕組みを活用して、各クラブ、IT 化・ペーパーレス化を更に推進されたといった内容で、実際のパソコンの操作画面を印刷した資料を使っての講習でした。しかし、なかなか分かりづらいことも多く、後日（5/23）次期クラブ幹事と事務局合同の研修が予定されています。

討論会は①ガバナー補佐 ②会長・委員会 ③事務局、それぞれとの望ましい関係をいかに構築していくかという話し合いでした。最も白熱したのが一年の任期を終える頃には、会長、幹事の関係が悪化しているという話題で、そういうケースは結構あると賛同の声が多く上がったのが意外でした。クラブの規則通り厳格にプログラムを遂行しておられる事の証左のようにも聞こえましたが…。

《会員増強維持・R 家族部門》 細谷信雄君

各クラブ会員増強 10% が目標であり、2780 地区は 1 クラブ当たり 3～4 名増とのことです。女性や若い世代、新しい職業、熟年代などあらゆる角度に目を向け、奉仕活動を通して魅力を高めてくださいとのことでした。

《奉仕プロジェクト部門》 佐東丈介君

各クラブの社会奉仕として、我々の様な下草刈りが多いようでした。他に 10 年程前に東南アジア諸国に井戸を建築したもののその後の経過は追跡しておらず、それではいけないと話されていました。また、少年院に職業奉仕に行き、受刑者の社会復帰の為に講話しているクラブの話には感銘を受けました。

《青少年奉仕部門》 石川 博君

RI が提唱する青少年育成のプログラムはインターアクト（12～18 歳対象）、ローターアクト（18～30 歳対象）RAIRA（14～40 歳対象）、青少年交換（15～17 歳対象）の 4 つがあります。

青少年交換プログラムは 1927 年に元々知り合いであったロータリアンが子供を 1 年間預け合ったところから始まりました。1950 年代になると相互交換型で長期的かつ平和学習を目的とした交換制度が人気を博し、現在の青少年交換の原型へと発展していきました。そして 1972 年、国際ロータリーの理事会で価値ある国際的な活動として、世界中の地区に青少年交換を推奨することを決議しました。今日では 150 か国以上、約 9000 人の学生が海外に渡り、地区やクラブのサポートを受けながら生活し勉学に励んでいます。日本でも、200 人前後の学生を 50 か国の地区に派遣しています。RI 本部に常設委員会を持つ重要なプログラムという位置づけにあります。